

九州ルーテル学院大学

Teaching Portfolio

2020



所 属： 人文学部人文学科こども専攻保育コース

名 前： 永 野 典 詞

作成日：2020年10月16日

九州ルーテル学院大学 ティーチング・ポートフォリオ

教員氏名：永野典詞

所属：人文学部人文学科こども専攻保育コース

1. はじめに

大学教育では、研究と同時に教育の質が求められている。また、教育成果の公表など、教育の質の向上、学生の学びの保障の観点からも教員個別のティーチング・ポートフォリオを作成することが求められている。

2. 教育の責任

九州ルーテル学院大学の私の教育責任は人文学科こども専攻保育コースにおける専門科目の担当である。また、2019年度から人文学科長とし人文学科全体の教育運営を行っている。

①授業科目の担当

2018年～2020年度の3年間は以下の科目を担当している。

科目名	開講年度時期	履修者数（平均）	備考
社会福祉	2018～2020 前期	34名	保育コース必修
こども家庭福祉	2018～2020 後期	50名	保育コース必修 精神保健福祉士コース選択必修
社会的養護（2020年度から社会的養護Ⅰ）	2018～2020 通年	34名（2年・3年）	保育コース必修
社会的養護内容（2020年度から社会的養護Ⅱ）	2018～2020 後期	34名（2年・3年）	保育コース必修
保育実習指導Ⅰ	2018～2020 通年	34名（2年・3年）	保育コース必修
保育実習指導Ⅱ	2018～2020 後期	34名（2年・3年）	保育コース必修
保育実習Ⅰ	2018～2020 実習期間	34名	保育コース必修
保育実習Ⅱ	2018～2020 実習期間	34名	保育コース必修

幼稚園教育実習 I	2018～2020 通年	34 名 (2 年・3 年)	保育コース選択必修
保育実習 I	2018～2020 実習期間	34 名	保育コース必修
保育実習 II	2018～2020 実習期間	34 名	保育コース必修
幼稚園教育実習 I	2018～2020 通年	34 名 (2 年・3 年)	保育コース選択必修
幼稚園教育実習 II	2018～2020 通年	34 名 (2 年・3 年)	保育コース選択必修
保育実践演習	2018～2020 前期 (2020 年は後期)	34 名	保育コース選択必修
フレッシュマンゼミ	2018 前期	36 名	保育コース必修
チャイルドケアゼミ	2018 後期	36 名	保育コース必修
教職実践演習	2018～2020 後期	34 名	保育コース必修
特別研究	2018～2020 後期	34 名	保育コース必修
卒業研究	2018～2020 通年	34 名 (2 年・3 年)	保育コース必修

教育を担当する科目は保育士資格必修、幼稚園教諭免許状取得のための必修科目を主に担当している。

■ 主要担当科目

「社会福祉」

人文学科こども専攻保育コースの 1 年生の科目である。保育士資格必修科目でもあるため、社会福祉の基礎から保育・幼児教育に関連した内容を教授している。社会福祉と子ども家庭福祉及び児童の人権や家庭支援との関連性について、社会福祉における相談援助や利用者の保護にかかわる仕組みについて理解することを目標としている。

「こども家庭福祉」

人文学科こども専攻保育コース 1 年生と心理臨床学科精神保健福祉士コース 3 年生（スクールソーシャルワーカー資格取得者）の科目である。現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について学び、子どもの人権擁護、子ども家庭福祉の制度や実施体制について理解することを目標としている。

「社会的養護 I」

人文学科こども専攻保育コースの 2 年生の科目である。保育士資格必修科目でもあるため、現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について学び、子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。また、社会的養護の制度や実施体系等、社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解することを目標としている。

「社会的養護Ⅱ」

人文学科こども専攻保育コースの2年生の科目である。保育士資格必修科目でもあるため、保育実習Ⅰ（施設実習）、保育実習Ⅲの実習施設を踏まえて次のことを学び、実習に活かせるようにしている。子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に学ぶ。施設養護及び家庭養護の実際について理解し、社会的養護関連施設での計画・記録・自己評価の実際を学ぶ。また、社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解することなどを目標としている。

「保育実習指導Ⅰ・Ⅱ」

人文学科こども専攻保育コースの2・3年生の科目である。保育士資格必修科目でもあるため、他の科目との関連性も踏まえた授業内容としている。また、保育所、児童福祉施設等の意義や目的を学び、かつ、実習内容を理解した上で、実習の課題を明確にする。また、実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。さらに、保育の計画・観察・記録の方法や内容について具体的に理解することを目標としている。

本務校以外での教育実践を以下に示す。

■非常勤講師

八代看護学校「社会学」

熊本労災看護学校「社会学」

■その他の研修講師

保育士等キャリアアップ研修講師「マネジメント」「障害児保育」「乳児保育」「保護者支援・子育て支援」他

② 教育組織運営

2019年度から人文学科長として学科運営に取り組んでいる。学科教員が主体的に校務に取り組むことができるように、教員の裁量権の拡大、意見が言える環境の構築を意識して組織運営を行っている。

3 教育の理念

大学の教育理念を踏まえて、私に取り組んでいる教育の理念は以下の3点である。

- ① 学生が主体的・能動的に学ぶことができる環境を作る
- ② 一人一人の学生の個性を踏まえた教育指導と学生支援の充実を図る
- ③ 学生の意見表明権の保障

4 教育の方法

大学の教育理念を踏まえた教育方法について以下に記す。

- ① テキストや配布資料の充実：学生が主体的に学ぶことができるように、授業での理解度を高めるための資料を提示する。
- ② 学生の状況を踏まえた教育指導・学生支援：学生一人一人の状況を丁寧に観察し、状況に応じた指導・支援を行う。
- ③ 学生のニーズに配慮した教育：学生が忌憚なく意見表明ができること、かつ、学生のニーズに合わせた教育指導・学生支援のあり方に配慮する。

5 教育改善のための努力

- ① 授業評価アンケートの省察：毎年前後期に行われる授業評価アンケートを振り返り、学生の状況を把握してニーズに沿った教育指導・学生支援に取り組んでいる。また、google フォームを利用して、授業毎に学生の理解度チェック、授業感想・要望等を記載してもらっている。この結果を受けて、次回の授業に生かすように PDCA を回すようにしている。
- ② 学会、研究会等に参加し教育指導の学び：学生の主体的な学びを深めるために日本人間関係学会や日本保育ソーシャルワーク学会等、複数の学会で学生の教育指導・学生支援の学びを深めている。

6 教育の成果・評価

授業評価アンケートでは、社会福祉、こども家庭福祉、社会的養護、保育実習指導等で4.0を超える高評価を得ている。自由記述として、「教員の意欲を感じる」、「丁寧に説明がされる」、「学生の意見を受け止めてくれる」、「学生の声を傾聴してくれる」、「授業がわかりやすい」等の意見が述べられていた。

7 今後の教育に関する課題と目標

新型コロナウイルス感染症の影響でこれまでの教育のあり方が根本的に見直されている。教員の教育に対する力量が試されているといっても過言ではない。オンライン（リアルタイム、オンデマンド）授業では、学生の意欲を喚起できるような仕組みが必要であり、同時に、負担になりすぎない配慮も必要である。オンライン授業でも対面授業でも学生の視点に立脚した授業内容の構築が必要であり、今後の課題である。

今後の目標として、学生が意欲的に授業に参加し笑顔で主体的に発表ができたり、他者の意見に丁寧な感想が言えたりする環境を構築したい。そして、教育目標を明確にして、学生と教員が共通理解のもとに授業に取り組むことができるようにしていきたい。

8 参考文献

- ① 担当科目シラバス（一部参照）
- ② 授業評価アンケート評価（自由記述含む）

- ③ 厚生労働省子ども家庭局長「『指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について』の一部改正について」平成 30 年 4 月 27 日